

## 【別紙様式 3】

## 再評価実施事業調書

番 号	2	事 業 名	社会資本整備総合 交付金事業（街路事業）			路 線 又 は 箇 所 名 等			習志野都市計画道路 3・3・3号藤崎茜浜線		
事 業 所 管 課			道路整備課			事 業 主 体			千 葉 県		
事業化年度	平成 9 年		用地着手年度	平成 10 年度		工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成 25 年度 令和 10 年度		再評価の理由		再々々評価
費用便益比 B／C	1. 2 (15. 4)		総費用	210 億円 (16 億円)	総便益	250 億円 (250 億円)	基準年		令和 7 年	供用開始 年度	令 和 10 年

※上段：全体事業      下段（ ）：残事業

## 【事業概要】

## （目的）

本路線は、習志野市の臨海部と内陸部を南北に結ぶ都市計画道路であり、市の骨格をなす幹線道路である。当該事業は、J R総武本線及び京成本線等との立体交差（跨線橋）を含むバイパスを整備するものであり、京成津田沼駅周辺に集中する通過交通の分散やボトルネック踏切からの交通を転換し、都市交通の円滑化を図るものである。

## （実施内容）

- ・ 総事業費：150 億円
- ・ 事業延長：L = 635m
- ・ 事業認可期間：平成 9 年度～令和 10 年度

## 【事業の進捗状況】（令和7年度末見込み）

	全体計画（億円）	投資事業費（億円）	残事業費（億円）	進捗率（%）
全体	1 5 0	1 3 3	1 6	8 8

## 【社会経済情勢等】

- ①本路線西側に並行する市道（00-005 号線）と京成本線との踏切（京成津田沼第 1 号）は、慢性的な渋滞が発生しており、国土交通省の行った踏切交通安全実態総点検においても、自動車と歩行者のボトルネック踏切に分類され、抜本対策の検討が必要とされている。
- ②本路線東側に並行する市道（00-011 号線）は、歩道の幅員が狭く歩行者と自転車がすれ違うこともままならない状態であり、路肩を通行している歩行者も見受けられる。
- ③周辺の道路は通学路に指定されているが、歩道未設置の区間もあり通学時等の児童の安全性の確保が求められている。

## 【対応方針（案）】


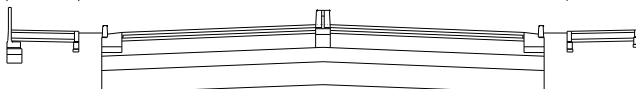
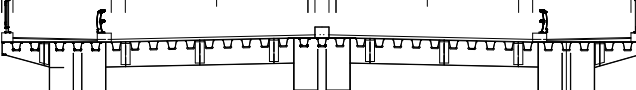

## 継 続

費用便益比（B/C）が1.2であり（残事業で15.4）であることから、費用対効果が見込まれる。

整備効果として、周辺道路の渋滞の緩和、走行性の向上、緊急車両の移動時間短縮等の効果があると考えられる。

また、歩道の設置による歩道利用者の安全性の向上等の効果が期待できることから、事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

【別紙様式 4】

事業概要図																																																																											
番号	2	事業名	社会資本整備総合 交付金事業 (街路事業)	路線又は箇所名等	習志野都市計画道路 3・3・3号藤崎茜浜線																																																																						
位置図			標準横断図																																																																								
			<p>一般部</p> <table><tr><td colspan="10">22000</td></tr><tr><td>3500</td><td>500</td><td colspan="4">14000</td><td>500</td><td>3500</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>2500</td><td>1000</td><td>3250</td><td>3250</td><td>1000</td><td>3250</td><td>3250</td><td>1000</td><td>2500</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">250</td><td colspan="2" rowspan="2">500</td><td colspan="2" rowspan="2">250</td><td colspan="4" rowspan="2"></td></tr></table>  <p>橋梁部</p> <table><tr><td colspan="10">22800</td></tr><tr><td>400</td><td>3500</td><td>500</td><td>3250</td><td>3250</td><td>3250</td><td>3250</td><td>500</td><td>3500</td><td>400</td></tr><tr><td colspan="2">250</td><td colspan="2" rowspan="3">500</td><td colspan="2" rowspan="3">250</td><td colspan="4" rowspan="3"></td></tr></table> 			22000										3500	500	14000				500	3500			2500	1000	3250	3250	1000	3250	3250	1000	2500		250		500		250						22800										400	3500	500	3250	3250	3250	3250	500	3500	400	250		500		250					
22000																																																																											
3500	500	14000				500	3500																																																																				
2500	1000	3250	3250	1000	3250	3250	1000	2500																																																																			
250		500		250																																																																							
22800																																																																											
400	3500	500	3250	3250	3250	3250	500	3500	400																																																																		
250		500		250																																																																							
																																																																											

## 【別紙様式 5】

## 再々評価事業に関する調書

番 号	2	事 業 名	社会資本整備総合 交付金事業（街路事業）	路線又は箇所名等	習志野都市計画道路 3・3・3号藤崎茜浜線
事業化年度	平成 9 年度	用地着手年度	平成 10 年度	工事着手年度	平成 25 年度
【再々評価（R 5 年度）の概要】					
再評価実施年度 （基準年）	令和 5 年度	供用開始年度	令和 7 年度	対応方針	継続
B / C	1. 2 (3. 4)	総費用	180 億円 (66 億円)	総便益	223 億円 (223 億円)
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業 再評価時の委員会の意見及び当時の状況 ・継続することが妥当である。					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況（R5）	5 年後の想定進捗状況		
全体事業費	1 5 0 億円	8 3 億円 (55%)	1 5 0 億円 (100%)		
用地取得面積	1 5, 2 6 1 m <sup>2</sup>	1 4, 4 9 4 m <sup>2</sup> (95%)	1 5, 2 6 1 m <sup>2</sup> (100%)		
供用延長	6 3 5 m	0 m (0%)	6 3 5 m (100%)		
【再々々評価（令和 7 年度）の概要】					
再評価実施年度 （基準年）	令和 7 年度	供用開始年度	令和 10 年度	対応方針	継続
B / C	1. 2 (1 5. 4)	総費用	2 1 0 億円 (1 6 億円)	総便益	2 5 0 億円 (2 5 0 億円)
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業 現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況（R7 年度末）			
全体事業費	1 4 9. 9 億円	1 3 2. 6 億円 (88%)			
用地取得面積	1 5, 2 6 1 m <sup>2</sup>	1 4, 4 9 4 m <sup>2</sup> (95%)			
供用延長	6 3 5 m	0 m (0%)			
再評価後の経過及び処理状況	・令和 5 年度 再評価（継続が妥当である） ・工事、用地交渉を継続実施				